

5 平成 18 年度千臨技細胞検査研究班精度管理報告—メイグリユンワルド・ギムザ染色標本について—

○須藤一久（千葉県立佐原病院） 北村真（東邦大学医療センター佐倉病院） 高岡勝之（国保旭中央病院） 有田茂実（千葉県こども病院） 小山芳徳（帝京大学ちば総合医療センター） 村田行則（国立がんセンター東病院） 千臨技細胞検査研究班精度管理委員

【目的】千臨技細胞検査研究班では、平成 16 年、17 年度に引き続き、本年度もメイグリユンワルド・ギムザ染色における適正な染色および細胞判定を目的に、精度管理事業を行った。その評価基準と結果について、使用した症例の細胞像と共に報告する。

【症例】70 歳代 男性 剖検例

【材料・評価方法】肺門部リンパ節捺印乾燥標本を、未染色凍結密封保存状態で参加 42 施設に配布し、各施設でメイグリユンワルド・ギムザ染色を実施。返送された標本および調査用紙（細胞判定・染色方法）について集計した。評価は過去 2 回の評価基準を参考に、細胞検査研究班委員で評価項目と評価方法を策定し、点数化して行った。染色性では染色ムラ・残留色素・色調・濃淡の適否を評価した。細胞判定では良悪性の判定（クラス分類を含む）推定病変・および適切な表現と記載内容の整合性について評価した。

【結果】評価結果について、染色と細胞判定に関する問題点や、評価基準の詳細と共に、当日実例を提示しながら報告する。

0478-54-1231(279)

6 平成 18 年度千臨技細胞検査研究班精度管理報告—フォトサーベイについて—

○永澤友美（榊江東微生物研究所千葉支所） 小山芳徳（帝京大学ちば総合医療センター） 有田茂実（千葉県こども病院） 時田和也（JFE 健康保険組合川鉄千葉病院） 滝川紀子（千葉大学病院病理部） 村田行則（国立がんセンター東病院） 千臨技細胞検査研究班精度管理委員

【目的】今回我々は、インターネットを利用したフォトサーベイによる適正な細胞判定を目的とした精度管理事業を行ったので、それらの解答、正解率および解説について報告する。

【方法】各施設の担当者に、千臨技ホームページからフォトサーベイのトップページより画像を閲覧してもらい、設問に対するの回答を求めた。設問は同定問題として 9 問（画像各 1 枚）、症例問題として 1 症例（画像 8 枚）を提示した。

【結果】43 施設から回答が得られ、それぞれ問題 1～9 までの解答と正解率は以下の通りである。

1. ヘルペス感染細胞 43/43(100%),
2. 小細胞癌 43/43(100%),
3. 扁平上皮癌 43/43(100%),
4. 角化型扁平上皮癌 38/43(88.4%),
5. 印環細胞癌 43/43(100%),
6. 消化管間葉系腫瘍 (GIST) 43/43(100%),
7. ランブル鞭毛虫 43/43(100%),
8. 尿路上皮癌 (High grade) 24/43(55.8%),
9. リンパ球性頸管腺 43/43(100%)であった。

症例問題の解答は亜急性甲状腺炎で、正解率は 35/43(81.4%)であった。

【まとめ】同定問題の多くは高い正解率が得られたが問題 8 では正解率が低かった。症例問題は亜急性甲状腺炎との回答が多く、解説については当日報告する。

043-234-0111 (代表)